

県固有の優れた農産物

「横輪芋」が選ばれる

伊勢 地元活性化委が市長に報告

【伊勢】伊勢市横輪町の住民有志でつくる町活性化

委員会の岡惣松会長や中西克秀理事ら会員五人は二十一日、伊勢市役所を訪れ、地元特産品の「横輪芋」が県固有の優れた農林水産物を発掘する「三重のバイオトレジャー」に選定されたことを鈴木健一市長に報告

した。

同事業は、一部の狭い地域で消費、流通しているような地域に埋もれた農林水産資源を選定し、PRする県の取り組みで、平成十九年度から実施している。選定されると、県のイベントなどでPRされるほか、専門家から商品開発や販路開

拓のアドバイスが受けられる。

今年度は四十六件の応募の中から八件が選ばれた。横輪芋は、昭和初期に九州地方から種芋を持ち帰り、栽培したのが始まりとされ、自然のヤマイモと変わらぬ風味と粘りが特長。選定理由には、住民が一丸と

なって取り組んでおり、発展性があること▽強い粘りがあり、味が濃厚▽安定した供給が可能であること▽などが挙げられた。岡会長は「獣害対策や生産者の増加を図り、生産量を上げること

で、より長く活動を継続していきたい」と期待を寄せた。

報告に訪れた岡会長（右から2人目）と中西理事（右端）は伊勢市役所で



横輪の里